

横浜市金沢産業振興センター等の活用に向けた サウンディング調査実施結果

<結果概要>

1 対話期間

令和4年9月12日～令和4年10月27日

※実施期間は9月30日までとしておりましたが、多くの事業者の皆様にお申込みいただいたことから、日程調整の都合上、一部10月に実施しました。（申込期限は公募要領どおり9月28日までとしています）

2 参加事業者数

19事業者

（不動産5者、建設2者、小売2者、金融2者、地元事業者・団体8者）

3 対話における提案

(1)横浜市金沢産業振興センター

活用提案	具体的内容	地域還元
物流倉庫施設	複合物流施設（※）	飲食店、医療機関、金融機関、地域交流スペース、保育施設、太陽光発電、コンビニエンスストア、ソーラーカーポート等の設置、防災機能、地域雇用、事業の高度化支援、地域SNS導入、地元企業による製品化等
ホームセンター	ホームセンターを中心とした商業施設	飲食店、医療機関、金融機関、駐車場、地域交流スペース等の設置、防災機能、地域雇用、地域企業と連携した各種取組
複合商業施設	スーパーマーケットや小売店舗等	飲食店、医療機関、金融機関、地域交流スペース等の設置

（※）複合物流倉庫について、複数の事業者から同様のご提案をいただいております。地域還元機能については各事業者のご意見をまとめて掲載しています。

その他実施主体としてではありませんが、活用について、次のとおりご提案がありました。

※本サウンディング調査では、自らが事業の実施主体となることを前提とし、実現可能な具体的なご意見・ご提案を募集いたしましたが、自らが実施主体とならないご提案もいただきましたので、参考として掲載しています。

活用提案	具体的内容	地域還元
現状維持をベースとした提案	商業と工業と学業が融合したスペース	一般消費者、企業、学生等が様々な用途で活用可能（オリジナル商品DIY、製品開発、スタートアップ等）
	既存機能 + α	保育、病児保育、ファブラボ（多様な工作機械を備えた次世代型実験工房）、シェアオフィス等の設置
	多目的運動場（人工芝、照明設置）	様々なスポーツによるコミュニティの形成
	グラウンド及び体育館にてドローンの操縦練習場	ドローン普及によるエリア全体の発展
	既存機能を維持	

(2) 横浜金沢ハイテクセンター

活用提案	具体的内容	地域還元
新たな事業創造にチャレンジする企業の集積施設	様々な技術・ノウハウをもつ企業の集積、企業研修、一部データセンター	集積企業と地域企業との連携
ホテルとオフィス	大規模改修によるホテルリニューアルとオフィス	地域企業の会合や研修宿泊等としての利用
ラボ施設	改修によりラボ機能を付加	ラボ企業と地域企業との連携
公共棟のラボ機能拡充に伴う事務所二階の取り込み	併設する公共棟を民間へ売却し、賃貸ラボ施設を拡充 ラボ施設入居企業の付帯オフィスとして一般棟を活用 一般棟のみの活用は困難	ラボ企業と地域企業との連携